

12月12日(火)6・7校時に2学年(71回生)の学術研究SAB課題研究のポスター発表会(ゼミ毎)がありました。ゼミ内の発表はこれが最後ということもあり、どの班も気合が入っている様子でした。それでは、各ゼミの様子を紹介します。

● 国語ゼミ

発表時間 7~9分(質疑応答 1~3分 発表と合わせて10分)

これまでの発表と比べて、序論から結論までの論理的なつながりがどの班にも見られた。また、原稿を読み上げるような発表をする班も少なく、発表態度についても、大きな成長が感じられた。質問の数は多くはなかったが、どの班も生徒からの質問に適切に答えていて研究の内容がしっかりまとまっているようだった。しかし、先生からの質問には答えが出ない班もあったため、さらなる深い考察が必要である。

ポスターについても多くのアドバイスを頂いたので、次回の発表に生かしていきたい。

● 音楽ゼミ

発表時間 7~8分(質疑応答 2~3分) ※家庭科ゼミと合同

音楽ゼミ、家庭ゼミ合同での発表会でした。計5班すべての班に共通して言える改善点として、自分たちの発表を「見せている」意識が足りないという指摘をいただきました。改善点を自覚していたとしても、一番伝えたいことには自信を持って、目線や話し方も工夫すること、そしてそれぞれ時間を割いて発表をきいていただくという自覚を持つことが必要だという認識が班員の間で高まったように思われます。次の発表まで時間も少なく、多くの班が悩む実験データの不足等改善が難しい部分もありますが、今回の発表会は残り少ない研究期間にラストスパークをかける良いきっかけとなったのではないのでしょうか。

● 家庭ゼミ

発表時間 7~8分(質疑応答 2~3分) ※音楽ゼミと合同

今日のポスター発表は研究の集大成であったため、中間発表よりもそれぞれ内容が濃いものとなっていた。発表全体の雰囲気は少し前回までの発表に比べて慣れがでてきており、緊張感が足りなかったと思う。また、他者の発表に対し、より集中して耳を傾ける必要があると思った。ポスター発表の仕方としては、各グループそれぞれで共通して、聴衆に伝える意識が足りなかったと思う。発表の原稿やポスターを見ながら話す人が大半を占めており、話す声の大きさも全体的に小さかった。発表者は次回の発表までに原稿は暗記し、基本的な事ではあるが、聴衆の目を見て話す必要があると思う。また、講評では「何を伝えたいのかわからない」というものが一番多かった。自分たちが一番伝えたいと思うことを整理し、班内で共通に認識することが必要である。また、実際に実験で使用したサンプルなども持ってくる、より聴衆が内容を理解しやすくなるため次回ではサンプルなどを使用したい。



● 公民ゼミ

発表時間 ~10分(質疑時間 ~5分)

前回のゼミ内発表での反省をふまえ、改良されてより良い発表になっていた班が多かった。しかし、10分ば発表時間を超える班が多かったため、次回のポスター発表からは時間内に収まるように調整する必要がある。

る。

また、担当の先生からは『考察・結果までの流れやポスターの構成をもう少し考えるべきだ。』とのご指摘があった。各班、先生方からの意見を真摯に受け止め、今回の反省点をポスター発表会当日に生かしてほしい。

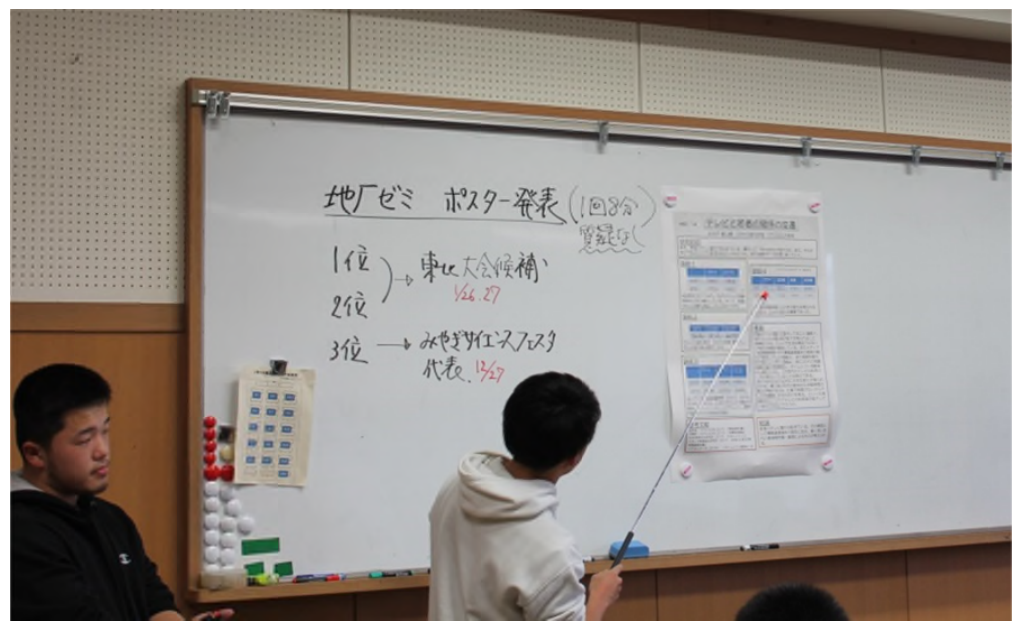
● 地歴ゼミ

発表時間 ~8分(質問時間 ~2分)

発表者の声量が全体を通して小さいように感じた。

発表時間をオーバーする班が目立ったものの、どの班も丁寧な発表がなされていたと思う。

- ・ 1班...「テレビ離れ」の根拠をもっと明確にしてほしい。練られた考察。
- ・ 2班...ドゥテルテ大統領の行った政策と狙いを対応させた見やすいポスター。もっと声量欲しい。



- ・ 3班... 3つの戦争に戦争論がどのように関わったのか比較。もっと声量ほしい。
- ・ 4班...「鬼火」に対する世の中の推移をうまくまとめていた。
- ・ 5班...発表の合間にクイズを設け観客を飽きさせない工夫をしていた。楽しそう。
- ・ 6班...「山南敬助」という特定の人物だけにスポットを当てたため、情報に統一感ある深い発表となった。
- ・ 7班...声量良い。きれいにまとめられた発表。
- ・ 8班...「大和」と「武蔵」の比較。人気の理由の考察が強引な印象を受ける。
- ・ 9班...観客が特に集中して発表を聞いていた。
- ・ 10班...平安貴族の健康状態について体形の特徴や具体的な症状を詳しく説明していた。
- ・ 11班...当時の沖縄住民の証言を基にした発表。時々止まってしまうのが惜しい。

● 保体ゼミ

発表時間 7~9分(質問応答 2~4分)

ゼミ長が欠席の中始まりはあわただしかった。72回生からあまり質問がなかったのが残念だったが、71回生は積極的に質問していたので良かった。また、先生からの指摘にもしっかり回答していたので良かった。保体ゼミは比較的ボケの通用しないゼミであることが分かった。ただ発表するよりユーモアを含めて発表したほうが自分的にはいいと思うのだが、失笑が多かった。どの班もしっかり時間内にうまくまとめていた。質疑の時間は超過することが多かった。先生の講評でも言われたことだが、ポスターを見やすくしたほうが良いと感じた。さらに向上を見込める発表だった。

● 物理ゼミ

発表時間 6分～(質疑応答 4分～)

質疑応答が大変多かった。前回の中間発表よりも、質問がより核心をついていた。一年生の質問は、二年生に比べて少なかったが、一部の人は勇気を出して、質問してくれたおかげで、発表する二年生にとっても、有意義なものになっただろう。一年生の「初めて知る」という観点からの疑問はとても貴重なものなので、今後はより多くの疑問を期待する。あげられた質問の中にいくつか「それにはどのような実用性があるのか？」というようなものがあった。やはり、ただ調べ「結果がこのようなになった」、「このような考察をした」では、聴衆を満足させることはできないのだと感じた。研究の結果をどのように利用して、日常生活に繋げるのかという研究の主旨が伝わると、より有意義な発表につながるのではないかと考えた。次回の発表に向けて、原稿に頼らずに「伝える」という力も磨いていきたい。

● 化学ゼミ

発表時間約 15分(質疑応答等含む)

2年生はもちろんのこと、1年生からも質問が出ており、発表者もそれらの質問に的確に答えていた。また、前回の発表の反省を踏まえ、どの班も用語について詳説したり1年生向けの説明を加えたりして、発表内容を修正していた。しかし、多少発表時間を超えてしまっている班がみられ、その点については改善したい。

● 生物ゼミ

発表時間 ～10分(質疑応答 5分～)

どの班も発表に工夫が見られ、実験結果に数値となつてでていて、前回の発表に比べ内容の濃い発表になっていた。二年生からだけでなく、一年生からも質問が出て活発な議論となり、考えが深められた。実際に見ていた人にはわかるが、何も知らない一年生に伝わっていないことが多くあったので、実験過程を見ていない人にも、わかるように改善する必要がある。担当の先生からは、ポスターが見やすくなるように画像を調整することや、その実験を再現できるように実験方法の文言を工夫することをご指摘いただいた。この発表会でできた改善点を活かしてより良い発表会にできたらと思う。

● 地学ゼミ

発表時間 5分(質疑応答 10分) ※災害研究ゼミと合同

15分(発表5分、質疑10分)での発表だったが、質疑の10分にはあまり生徒の声が聞こえず、先生方の意見が多かった。生徒間の意見交換が少なく、シーンとした場面が多くあった。発表のときに、実際に実験で用いた器具で説明していたことも多々みられて、目で見て分かる説明ができていた。しかしポスターの表記方法で、グラフの単位であったり図の見方であったり雑な部分が見られた。

● 災害研究ゼミ

発表時間 ～5分(質疑応答 ～10分) ※地学ゼミと合同

4つの位置にポスターを貼って、二年生は発表者と聞く人に分かれて、時計回りに回っていき、一年生も4つのチームに分かれて時計回りに聞いていた。また、どのグループもグラフや図を用いていてポスターが分かりやすかった。一年生も二年生も質問を多くすることによって研究への理解を深めていた。

● 情報ゼミ

発表時間 10分～15分(質疑応答含む)

アプリの開発など高度なことをやっている班が多かったため、結果を出すことや考察をできていない班が多かった。また専門用語が多いため一年生にあまり理解が進んでいなかったように思われる。前回の発表のときよりも一年生がいたためか質問数が多かったため、有意義な発表になっていたと思う。



● 数学ゼミ

発表時間 ～15分(質疑応答 ～3分)

これまではパワーポイントでの発表を行ってきたが、年末のポスター発表会を意識してのポスターでの発表会だった。数学ゼミでは、ポスターを前の黒板に貼って説明をしたが、文字が小さく見えづらかったので、次はA4サイズのポスターを印刷して配布するという配慮が必要だと思った。発表会の内容としては、前回より進んだ班もあれば、大して変わっていない班も見受けられた。最終発表までに深い内容になっていることを期待したい。質問は何度も同じ発表をしているため少なかったが、72回生からの質問が全くなかったのは残念だった。

● 英語ゼミ

発表時間 6～8分(質疑応答 2～3分)

今回の発表は英語での発表であったため多くの班が発表に苦戦するかと思っていたがどの班も制限時間内に発表することができていて事前準備が入念であったことがわかった。会の進行は序盤こそ1年生がいたこともあってごちなかつたが終盤はスムーズに進行させることができた。発表内容の質問は特に言語の指定はしていなかったが英語で質問をしている人もいて英語ゼミならではの雰囲気だと感じられた。しかし、全体を通してみると質問の数は決して多くはなかつたのでゼミ全体でそれぞれの研究について向き合いどの班もより精度の高い内容にしていけるように残りの期間でしっかりと仕上げていきたいと思う。先生方からのアドバイスとしてはポスターに字を書きすぎなのでより簡潔な内容のポスターにすることが大切だという助言をいただいた。

編集後記

学校公開直前ということもあって、どのゼミでも完成度の高い発表をしてくれていたようだ。72回生にも、来年の手本となる研究を見せることができたので、よい発表会であったといえるだろう。しかし、12月21日には学校公開で外部の方々に見てもらうので、改善の余地がある班は少ない時間だがより良い発表にしてもらいたい。

